

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金

登米市立豊里小学校教諭 6学年 三浦 幸恵

実施年月日：令和3年6月24日 26名

1 実践計画・指導のねらい

多くの児童は、消費税については知っているが、その他の税金の種類についてはほとんど知らない。また、税金がどのように使われているのかわからないで生活している児童が多い。本実践では、社会科の学習やゲストティーチャーを招いての租税教室を通して、税金は、自分たちが豊かな生活を送るために使われており、そのために国民が納めているものであることを理解させていきたい。また、税に関する絵はがきや標語作りにおいて、学習したことを自分の言葉や絵で表現することで、より理解を深めていきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、子どもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・税金の働きについて調べ、公共のサービスや施設にかかる費用の多くは、税金でまかなわれていることを知る。	○ <u>税金について知っていることはありますか。</u> ● 買い物するとき消費税を払っている。 ● たばこ税も聞いたことがある。 □使用教材 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」
2	・災害復旧・復興に向けた国の取り組みを調べ、それにかかる費用は税金が使われていることを知る。	○ <u>復旧や復興のために必要なお金はどこから出るのでしょうか。</u> ● たくさんのお金が必要になるけど・・・ ● 税金 □ 使用教材名 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」
3	・税金の種類や使われ方、税金の必要性について知る。（登米法人会からゲストティーチャーを招き「租税教室」を実施）	○ <u>税金が使われているものと使われていないものに分けよう。</u> ● 学校、公民館、消防署、警察署・・・は税金が使われている。 ○ <u>税金がなくなるとどうなるのだろうか。</u> ● 消防車や救急車を呼べなくなる。 ● ゴミを集めてもらえない。 □ 使用教材名 税のビデオ（マリンとヤマト 不思議な日曜日） 
4	・税金について学んだことを絵はがきに表そう。「税に関する絵はがきコンクール」に応募する。	○ <u>税金の大切さを伝える絵はがきをかこう。</u> □ 使用教材名 まんが「おじいさんの赤いつぼ」 
5	・税金について学んだり考えたりしたことを標語に表そう。「税に関する標語」に応募する。	○ <u>税金の大切を伝える標語を考えよう。</u> ● 「君が今 はらう税で かなう夢」 ● 「税金で 明日を支える 豊かな未来」

【指導のポイント】≪1時間目≫

身近なところにたくさん税金が関わっているということに気付くことができた。

【指導のポイント】≪2時間目≫

東日本大震災の復旧作業の映像を見せることで、税金の大切さや必要性について考えることができた。

【指導のポイント】≪3時間目≫

ゲストティーチャーからのクイズに答えたり、DVDを視聴することで、税金は自分たちの生活を支える大事な物であるということを再確認することができた。

【指導のポイント】≪4・5時間目≫

今まで税金について学習したことや考えたことを基にして絵や標語に表すことで、税金についてより理解を深めることができた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

- ◎ 「教科書での学習」「租税教室」「税に関する各種コンクールに参加」と長期に渡って税について知ったり考えたりする機会があり、児童は復習しながら知識を広げたり深めたりすることができた。
- ◎ 租税教室では、クイズを行いながら児童に分かりやすく税金の役割や大切さを学ばせていただき、児童は楽しみながら意欲的に学んでおり、有意義な時間となった。
- ◆ 税金の種類など用語が難しいものもあり、児童によっては理解しにくい部分がある。児童に分かりやすく説明するために教師側の工夫が必要だと感じた。